

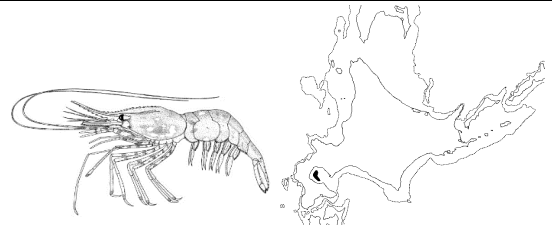
40.トヤマエビ

主な漁業と漁期

えびかご：

噴火湾外：3～11月10日

噴火湾内：3～4月、9～11月10日



噴火湾海域

生態

◆分布・回遊

噴火湾では水深80～100mの海域に主に分布しています。発育段階や生活周期別の分布特性は不明です。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期は7～8月です。抱卵期間は6～7か月間で幼生のふ出期は2～3月です。

◎産卵場は不明です。

◆成長・成熟

	頭胸甲長(mm)	
	3～4月	9～11月
1歳	20.7	23.7
2歳	30.0	34.5
3歳	34.5	38.4
4歳	38.4	41.8
5歳	41.8	44.7
6歳	44.7	47.2

*) 1994～2017年の函館水試データより

*) 加齢の基準日：1月1日

◎成熟年齢・甲長

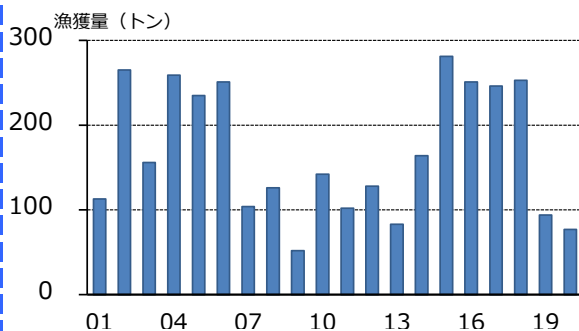
1歳までは年に2回冬と夏に脱皮成長し、1歳で雄として成熟したのち、2歳になる冬におおよそ75%の個体が雌に性転換します。2歳以降は脱皮成長は年1回で、オスは冬に、メスは夏に脱皮成長し、メスの脱皮期に交尾し、抱卵します。

資源評価

[評価年] 1月～12月

[評価方法] 1歳以上の資源重量

2020年度の漁獲量は77トンで前年から減少し、2010年以降で最も少なくなりました。2020年度の資源水準は低水準で、1歳の加入量が不明であるため、翌年にかけての資源動向は不明と判断されました。当海域の漁獲割合は45%と高く、多くが1歳秋から2歳春に漁獲されていることから、今後、資源の保護と有効利用のための対策が必要と考えられます。



2020年度
の水準



低水準

2021年度
の動向

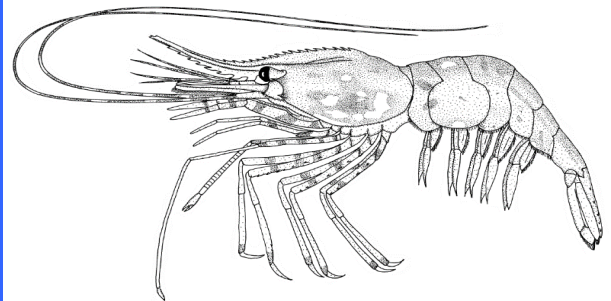


不明

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 許可の制限条件等
操業期間、かご数・目合(10節)等を定めています。
- 自主規制
一部の地域では春季の小型えびの禁漁に取り組んでいます。



☆現在の取り組みを継続するとともに、小型個体の漁獲を抑制するなど、より良い資源の利用を検討する必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 函館水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477
電話 0138-83-2893